

としょかん通信

3月



芦屋町図書館 (☎223局3677)
 開館時間 午前10時～午後6時
 休館日 1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・
 25日(木)・29日(月)・4月5日(月)

定例おはなし会

- | とき | 出演・催し |
|---------|---------------|
| 14日(回) | にじの会 |
| 20日(回) | おはなしトントン |
| 28日(回) | にじの会 |
| 4月7日(回) | 赤ちゃんおはなし会 たっち |
- ※時間はいずれも午前11時から
 ※3月の赤ちゃんおはなし会 たっちは開催しません。
 ▷ところ おはなしのへや・多目的室



■特集コーナー

教科書と教科書にのっている本 (1階、窓の下の本棚)

小学校の国語の教科書には、授業で習う話に関連した、たくさんの物語や絵本が紹介されています。図書館にはそれらの本を集めた特集コーナーを設けています。教科書で紹介された本に興味があったら、そのコーナーを見てみてください。

教科書で紹介された本は貸し出しを行っています。新しい学年に使う本を見たり、調べものにも利用してください。

※教科書は図書館の中だけで見ることができます。

東日本大震災特集 (1階、階段横)

東日本大震災は、今年の3月で発生から10年の節目を迎えます。震災の記憶を語り継ぎ、私たちにできることは何かを考える機会として、災害に負けない人々の姿や万々に備えた防災を考えるために参考となる本を用意しました。

新着図書

注目の一冊



花は散っても
 坂井 希久子 著
 母親離れができない

優柔不断な夫に見切りを付け、家を出た美佐は、東京の下町・谷中で着物のネットショップを切り盛りしている。ある日、実家の蔵で、箆箆に仕舞われた銘仙、謎の写真、3冊のノートを見つけたが…。

- | | | | |
|-----------|----------|---|--|
| 【一般書】 | | | |
| ぜにぎむらい | 吉川 永青 | 著 | |
| 紅蓮の雪 | 遠田 潤子 | 著 | |
| 転職の魔王様 | 額賀 滯 | 著 | |
| わんだフル・デイズ | 横関 大 | 著 | |
| 【児童書】 | | | |
| あしたの幸福 | いとう みく | 作 | |
| さくら村は大さわぎ | 朽木 祥 | 作 | |
| おにぎり! | 石津 ちひろ | 作 | |
| もしかして… | クリス・ホートン | 作 | |
| はらすきー | あきやま ただし | 作 | |

俳句、短歌

- 浜木綿俳句会
 - 雪降るや納屋に使はぬ耕耘機 池田千恵子
 - 寒鯉のタトウのごとき背を重ね 吉住 利枝
 - 初みくじひとり離れて開くかな 花田八代美
 - 素戔鳴尊の千木消して鳴る雪しまき 池田 幸利
- 芦屋俳句クラブ
 - 大寒や母といふ名の太柱 仲山クニ子
 - 母よりも父の遺伝子寒北斗 桐山 美枝
 - 口角をあげて雛を折る子かな 田尾三千枝
 - 立春や句帳にはさむ風の音 縄田 恵子
- 水荳短歌会
 - かすかなる漏水の音聴き当てし 田中勢津子
 - 検査員には驚異と感謝 田中勢津子
 - ホームの庭を何時も駆け居る犬なれど 榎枝 千恵
 - 今朝は綿入れ背に巻けり 榎枝 千恵
 - うたた寝にふる里の夢見たような 後藤 征子
 - 寝覚めにさがす母の姿を 後藤 征子
 - 早春の陽射しの中を歩みゆく 麻生 清子
 - 梅林の道に目白とび交う 麻生 清子

私たちの手で支えあいの地域をつくる

▷問い合わせ 高齢者支援係
(☎223局3536)

地域の中で友人の輪を拡げよう！

老人クラブと聞いて、皆さんはどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。

実は、とても活動的な団体で会員同士のつながりも強く、例えるなら学校のクラブ活動に似ているかもしれません。今回はそんな老人クラブ活動のことを、少し紹介します。

健康づくりでいつまでも生き生きと！

老人クラブの理念の一つ目が「健康」です。老人クラブでは、グラウンドゴルフやペタンク、ポッチャなど、無理なく体を動かせるスポーツの普及に取り組んでいます。耳なじみのない競技もありますが、実際にやってみると競技の奥深さに夢中になる人が続出。町の大会、遠賀郡の大会と勝ち進んでいけば、全国大会の舞台まで用意されています。また、囲碁や将棋などの頭を使うゲームも盛んに行われています。いつまでも健康であり続けるために、老人クラブでの活動は最適です。



ポッチャの練習



芋掘り大会



ウォーキング大会

互いを思いやり尊重し合える関係を作ろう！

二つ目の理念は「友愛」です。子どもの頃と違って、大人になってから仕事関係以外で友人を作るのは難しくなります。老人クラブでは、活動そのものを楽しむことはもちろん、活動をとおして地域の中の友人づくりまでできてしまうのです。実際、老人クラブの活動の中で、一緒に食事をしたり旅行にでかけたりする友人を見つけたという人も大勢いるそうです。また、一人暮らしの会員の安否確認を兼ねた訪問活動を行うなど、活動の端々で発揮される友愛精神は、会員にとって何よりも心強いものだと思います。

社会に貢献できる人になろう！

三つ目の理念は「奉仕」です。高齢者は支援の受け手ではなく、むしろ高齢者が支援の担い手になろうという考えは、超高齢社会を迎えている現在の日本、ひいては芦屋町にとって、大変心強いものです。実際、このコーナーでも何度か取り上げている「あしたの会」の立ち上げから運営まで、老人クラブは主体的な立場で関わってきました。ほかに、一生懸命育てたさつま芋を提供して行う、町内の園児などが参加できる芋掘り大会の開催など、周りの人を幸せにする活動も盛んです。これらの活動に対しては、町や県も積極的に表彰を行っています。何か社会貢献したいけど何から始めていいかわからないという人は、老人クラブに加入して、その熱意を遺憾なく発揮してみたいかがでしょうか。



老人クラブ活動を通じた社会貢献に対し県知事の表彰を受ける徳永 鼎二さん

町には15地区に老人クラブがあります。加入を検討している人は、各老人クラブの会員に直接尋ねるか、高齢者支援係まで問い合わせてください。地区に老人クラブがない場合で、老人クラブの立ち上げを考えている人の相談も待っています。